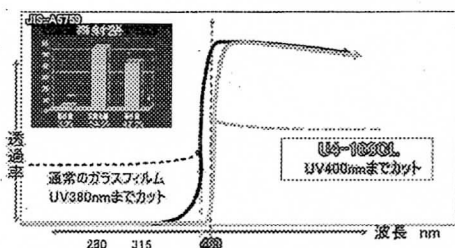


平成28年(2016年)10月3日

# 「紫外線カットフィルム」発売

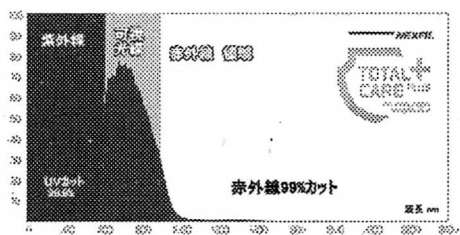
## UVAを99.9%カット

ネクスフィルム



UV-C	UV-B	UV-A	人間の健康や環境への観点による分類
280nm-315nm	315nm-380nm	380nm-400nm	
近紫外線 JIS-A5750 200nm-380nm		ガラスフィルムJIS基準 JIS-A-5759による分類	

「U4-100CL」はUV400nmまでカット



UVによる劣化を防止する  
率99.9%の紫外線カット  
標準紫外線カット  
99.9%の透

ネクスフィルム株式会社(千葉県流山市流山)は9月16日から、「UVA領域紫外線カットフィルム」を発売した。4シリーズを発売した。「超高性能透明遮熱U4-100CL」「U4-100C」の2種類がある。紫外線UVA領域の000nm透明

400nmノメートルまでを99.9%カットできる。JIS-A5759標準紫外線カット率99.9%の透

U4は紫外線400nmノメートルまでカットするガラスフィルムで、紫外線アレルギーやしみやしわの原因にもなる紫外線から守る。曇りやソファ

紫外線の分類はA波、B波、C波がある。C波は200nmノメートルから280nmノメートル。290nmノメートルまではオゾン層に九州され、地上にはほとんど届かないが、280nmノメートルから315nmノメートルのB波は日焼けの原因となり皮膚がんの原因にもなる。更に、315nmノメートルを超えるA波をカットすると、しみ、しわ、

減の特長がある。皮膚の保護は米国と韓国で認証を得た。可視光線透過率を高くしているため、透明度を維持しており、「赤外線領域の日射熱を最大限カットした透明遮熱節電効果フィルム」と同社。このフィルムを利用したサンバイザーも発売している。楽天での販売も同日から始める。<http://item.rakuten.co.jp/nexfilm/u4-6580m2/>

明度・可視光線透過率は89%を達成している。飛散防止効果もある。紫外線領域の基準には2通りあり、ガラスフィルムに関するJIS規定では380nmノメートルまで。しかし、健康や環境に関する観点からは400nmノメートルとされているという。

「など、インテリアの日焼けを大幅に抑制できる。紫外線の分類はA波、B波、C波がある。C波は200nmノメートルから280nmノメートル。290nmノメートルまではオゾン層に九州され、地上にはほとんど届かないが、280nmノメートルから315nmノメートルのB波は日焼けの原因となり皮膚がんの原因にもなる。更に、315nmノメートルを超えるA波をカットすると、しみ、しわ、

可視光線には紫外線が含まれているが、同社は「可視光線は明るさを保つためには必要だが、許容範囲まで紫外線や赤外線を下げるべき」と話している。紫外線や赤外線をカットするほど、家具などの退色も少なくなる。トータルケア U4シリーズは、UV劣化褐色防止、家具などの退色軽

減の特長がある。皮膚の保護は米国と韓国で認証を得た。可視光線透過率を高くしているため、透明度を維持しており、「赤外線領域の日射熱を最大限カットした透明遮熱節電効果フィルム」と同社。このフィルムを利用したサンバイザーも発売している。楽天での販売も同日から始める。<http://item.rakuten.co.jp/nexfilm/u4-6580m2/>